

# みんなで語る会報告書

開催日時 平成25年7月22日(月) (19時00分～20時30分)  
開催場所 魚見校区公民館  
参加者数 市民…24人  
指宿市…市長他15人

総計40人

## 会次第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 意見交換
- 4 閉会

## 意見交換内容

### 【市民】

・高齢者が、交通事故防止のために免許を返上すると買物にも行けない。歩くこともいいことだが、この暑さでは難しい。もう少し小さなマイクロバスでもいいので、市内循環バスの運行回数を増やそうという考えはないか。

<市長>

・車の免許を持たなくても生活できるような体系をどのように整えるかというのは、他市町村同様、大きな課題である。要望があったときに対応する「デマンド交通」という交通体系もある。交通の便が悪くから乗らないのか、便がよくてもあまり乗らないのか、そのような実態も調べた方がいいのではと思う。

<産業振興部長>

・市内循環バスの「イッシーバス」は、市内に4路線を1週間に3回、1日2便ずつ運行をしており、1便当たり平均10.4人、年間26,000人ほどが利用している。この他に、鹿児島交通が独自で運行している路線バス等もあり、主要幹線を45分に1本位ずつ運行しているが、利用者が少ない。県内の先進地では、路線バスが廃止になった所を市が市内循環バスを運行し、利用者が少なくなると「デマンド交通」に移行していくという形もある。どのような形が指宿市に一番合うのかということを含めて色々と検討したい。

<市長>

・これまで指宿や地域のために頑張ってこられた高齢者が、交通事故等の色々な問題に関わるようであれば、市としても何らかの形で対応しなければならない。どのような方法がいいと思うか。

### 【市民】

・退職し在宅の地域の方に電話をすれば、気軽に来て連れて行ってくれるといったような方法が一番いいのでは。魚見校区には4地区しかないなので、その4地区全体で考えられたらという思いもある。

<市長>

・高齢者が外出するための便利さを提供するの、行政として極めて大切だと思う。皆さんからの意見をいただきながら、「デマンド交通」を含め研究をさせてもらいたい。高齢者が安心して暮せるようなまちを、どういうふうに作っていくかというのは非常に大きな課題である。

### 【市民】

・市内には65歳以上の高齢者が14,000人以上いる。その方々の交通手段の確保については、先程の方が言ったようなことだと思う。高齢者の声を聞いてもらいたい。

<市長>

・今、高齢者にとって、何が問題なのか。どうして欲しいのかという話を聞く機会をつくりたい。

<健康福祉部長>

・高齢者クラブがあるので、そこを通じて機会を設けたい。

<市長>

・ぜひ、色んな考えを聞いて望ましい方向性を見出したい。

### 【市民】

・尾掛地区は、約47%が高齢者である。そういう中で、高齢者の健幸教室に取り組みようと申請したところ、健幸運動教室、地域環境整備事業補助金について決定通知が届いた。ありがたい。

・地区内道路の舗装は凹凸等があり、高齢者の方が手押し車で通るのに非常に危ない。市役所の土木課にも要望しており、早く手当てしようという回答をもらっている。

・魚見港付近は消波堤がないため、風が強いときは自動車も波を避けながら走行し危険である。ぜひ、市からも県に働きかけてもらいたい。

<市長>

・道路改良・新設等については、集落長さん、校区公民館長さん方の意見をいただきながら、点検をしているところである。

<建設部長>

・尾掛集落の水路の段差解消については、本年度、工事をする事になっている。もうしばらく、お待ちいただきたい。

・魚見港周辺の海岸は満潮時には、季節風や台風等により越波があり、車両の通行の安全確保がされず、住民の方をはじめ観光関係者からも多くの苦情をいただいている。管理者である県にも、対策事業の早期着手を今後も要望していきたいと思う。

<市長>

・語る会で出された意見で、できるものはすぐに対応したい。特に計画しているものは、いつ頃対応できるか示せると思う。この会が開催され、意見を出して良かったという成果を大切にしたいと思う。

・県、知事の考えでもある「しおかぜ街道（シーニックバイウェイ）」が、休暇村から途中まで建設されている。今和泉まで遊歩道がつながると、尾掛の海岸も相当変わってくる。

・岩本交差点の改良が行われており、鹿児島方面から見て池田方面への右折ラインを国道に造る。また、指宿方面から見てお寺の方への右折ラインを造り、海岸へ抜ける道幅を広くして歩道も造り、今和泉漁港、宮ヶ浜、尾掛へとつながる道路の整備計画を策定中である。きれいな海と、知林ヶ島、桜島、そして魚見岳も眺めることができる観光コースになってくれたらという思いがある。実現すると、バスが通る際に大変であった指宿小学校前、北指宿中学校前、田口田交差点も問題が解消される。今後、尾掛、吹越周辺は、交通安全対策を含めた整備が必要であろう。館長さんをはじめ、地区の方々に案を示せる日が間もなく来ると思う。

### 【市民】

・鹿児島市内から指宿に入ったとき、私は瀬崎の松林を自慢している。ところが、ここ何年か前から松くい虫に1本1本やられている。イメージダウンにならないよう、何とか防ぐ方法はないか。

<市長>

・確かに指宿の入口でもあり、指宿に来たという気がする。何とか松くい虫対策をしたい。

<農政部長>

・耕地林務課で松くい虫対策をしており、保安林も含めた対策を行っている。5月頃、空中散布や地上散布、樹幹注入等の対策を行っている。ただ、周辺に南薩畑かん地区の農地帯が隣接する地域もあり、山川の辻ヶ岳や鍋島岳でも薬剤散布を縮小してきている。松くい虫対策は、保安林の中でも防潮林や防風林を中心に行っているが、景観についても守っていかなければならない。今のところ、道の駅周辺では行っていないが、調査をしながら対応策を検討したい。

<市長>

・1本も枯らしてはいけないという要望等を実現できるよう、ヘリでの薬剤散布などを今年できないかと考えている。

<農政部長>

・マダラカミキリムシを媒体して線虫が松に移り、その線虫が基本的にその松を枯らす。カミキリムシが卵を産みつけるとそこに線虫が集まるため、成虫となり飛ぶ時期である5月頃に薬剤で殺傷する。よって、次回は来年の5月頃になる。

<市長>

・枯らしてはいけないという認識を大切にしながら、農政課とともに対策に努めたい。

### 【市民】

・健康づくりは、スポーツと栄養と休養が必要だと言われる。グラウンドゴルフやパークゴルフ等を行うことで、元気な高齢者が多いようである。それとともに、大きな声で会話をしたり、音楽、カラオケ等で声を出したりするのも健康づくりの一つではないかと思う。

・希望に満ちたすばらしい指宿市民歌の普及は非常に大切なことだと思うが、どのような活動をしてきたか。また、歌詞があれば歌えるという方が、どの程度いるのか。指宿市民歌をさらに普及するために、今後の対策はどのようなものを考えているか。例えば、公民館放送の前に流したり、広報車での広報活動のバックミュージックに流すなどの方法があると思う。

<教育部長>

・市民歌を制作した際に各公民館や学校等の団体にCDを配付し、小中学校における行事でも市民歌を利用するようお願いしている。2年前にCDを作成した際にも、希望のあった団体等に配付している。市役所では、毎週水曜日の昼休みに庁舎内で市民歌を流し、市民体育祭や成人式等の各種行事でも流している。地区でも市民歌を流していただければありがたいが、地区ごとに独特の曲があるようなので無理は言えない。もし、CDが必要であれば申し込んで欲しい。

<市長>

・貴重な意見であった。市民歌を集落で流すときには、外に出て足ふみを3分する等、地域で習慣付けると健康につながる。館長会等でも検討していただき、地域でも利用できるようにしたらどうだろうか。

<教育長>

・市民歌「希望あらたに」を改めて聞くと、非常にいい曲である。今年の成人式では、皆で歌った。今年の転入教職員の式でも、市民歌斉唱という項目を新たに設けた。この間、ある学校の校長から、「この曲を子どもたちにも聞かせたい」という意見があったので、再度、学校へ配付した。学校や自治公民館等でも時間を決めて市民歌を流せば、自然と子どもたちが覚え口ずさむことができるのではと思う。

<市長>

・SWC構想のもと、市民が健康になるためには、市民歌を利用するというのは非常に大切であると思う。鹿児島県は3時になると県民体操を流し、業務に支障のない方は体操をする。そうすることで、健康という意識を皆がもって運動をしながら、指宿市民として誇りをもてる市民歌を覚えることもできて非常にいいことであると思う。やはり、健康については、皆で取り組まなければ、特に国保会計等は大変である。医療費が増大してきており、基金から回さなければならない現実がある。もしこれを基金として積み立てておくことができれば、道路整備等の皆さんの要望に使えることになる。市役所では、1時前になったらラジオ体操をしている。それは、職員の健康づくりにもなるが、市役所に来られた方に、職員がラジオ体操をして健康づくりに努めている姿を実際に見ていただき、健康になろうという意識を植え込むことによって、医療費の削減を図りたい。

### 【市民】

・市長は重点事項として、乳幼児医療費助成を小学3年生まで行うことで3,000万の予算をつけたと言われた。小学校6年生まで助成するとあと3,000万、中学校3年生まで助成するとまたその位の金額がいると思う。少子化対策という観点から、この問題を考えていただきたい。

・定住促進条例の対象地域に、魚見校区は入っていない。尾掛地区には小学生が3名しかおらず、どうにかしたいと館長たちは考えているが、何か支援策があれば、今後取り組んでもらいたい。

<市長>

・乳幼児医療費の助成対象を、小学校3年生までに拡充した。県内でも、助成対象を小学生卒業まで、中学生卒業までと、子育てがしやすい環境づくりをしている所もある。本市としても、財政的な裏づけのもとで、担当部署を中心に検討してきた。

<健康福祉部長>

・小学3年生までを対象に、所得税額に関わらず医療費を完全無料化した。小学校卒業まで、中学校卒業までやっていると、それぞれ1,000万、2,000万と財源が必要になる。今後、ますます進行する少子化の時代を食い止める一つの手立てにはなると思うが、そこには財源の問題もある。定住化など全てのものを関連付けて検討していかなければならない。

<市長>

・助成の対象を小学校6年生までにした場合と中学校3年生までにした場合で、どの程度の予算がかかるかシミュレーションもして、一番医療費がかかる年代はどこなのかということを含め、色々と慎重に協議をした。いただいた意見については、再度、財源を含めて協議していきたい。

### 【市民】

・農村環境整備会という組織が市内に20団体ほどあり、魚見校区では五郎ヶ岡を除く3地区が吹越・尾掛環境整備会という組織を作っている。平成24年度から平成28年度の5年間で490万円予算をもらい、PTAや防犯などの協力により用排水路の整備等を行っている。尾掛地区では、畑かん事業をしたために法面が非常に高く、そこに雑木が生えて、20年以上もすると耕作放棄地になるのではという所もある。高齢化が進み法面の作業も難しく、年間98万円の予算では対策は困難である。現地調査をしながら、対応していただきたい。

<農政部長>

・農家の高齢化や担い手不足等により農地の管理がなかなか進まない中、農地は多面的な機能があるということで、地域の方も一緒になり農地を守っていただいている。予算のうち、国が50%、県が25%、市が25%を出しており、これを急に増やすというのは難しい。尾掛地区については、水勾配をとりながら、一番農地面積が確保できるよう畑かん事業で整備をした結果、法面が5m程度になった。耕作放棄地対策については、農業委員会とも連携しながら行っている。特異のある現場についても、現場調査や協議をしながら手立てがないか探っていきたい。

<市長>

・私も現場を確認し、農政課長とも一緒に見て意見を聞きたい。必要であれば、農業委員会とともに、県の市長会にも一緒にお願ひに行くなどしたい。

### 【市民】

・防災行政無線整備事業に2億500万円ほど予算が計上されており、今年度、五郎ヶ岡地区の公民館の敷地内にも設置してもらえるとということで大変ありがたい。この防災行政無線では、どのような内容のものを放送するのか。

・山川の俣川洲（またごし）は珍しい岩礁のようである。何かの機会で、そのような珍しい風景の写真を見せてもらえると、新しい発見になるのではないだろうか。

<総務部長>

・防災行政無線は、災害等の緊急的な放送や、緊急を要する行政からの情報等を放送している。また、使える状況であることを常時チェックするため、毎日、試験的に音楽や子どもたちに6時だから帰宅するようにといった放送をしている。今後、公民館長さん方、理事の方等による検討委員会を作り、放送の在り方についてご意見をいただきながら、放送内容について決めていきたい。

### 【市民】

・複数の地域にまたがる幹線道路の道路改良を要望する場合は、このような場で要望すればよいの

か。それとも、地域の連名での文書により要望しなければならないのか。

・市民体育祭において、人数の少ないチームであっても、1位、2位は無理でも、途中まででも夢を見ながら頑張れるような採点方法に見直すことはできないか。

<建設部長>

・道路整備に対する要望は、沿線を含めた地区からの要望書を、館長から土木課に出していただきたい。その後、土木課で現地を確認し、地区がまたがるようであれば、また隣の館長に話をしていきたい。

<市長>

・複数の公民館にまたがる時には、一緒になって要望書を出してもらいたい。

<教育部長>

・市民体育祭の点数制については、毎年、色んな意見が出ているので、スポーツ推進員と話をしながら、皆が楽しめるような大会になるよう努めている。ご理解いただきたい。

<市長>

・どのようにしたらよいか、今後とも様々な角度からご意見をいただきたい。

#### 【市民】

・先程も話があったとおり、尾掛は法面が高く、法崩れがある。梅雨になると災害が起きるため、業者に依頼して事前に工事をした。この前、請求書が届いたので、畑かんの整備補助金を早めに振り込んでいただきたい。

<農政部長>

・今、申請をしており、近く振り込むことができると思う。もうしばらく、お待ちいただきたい。

#### 【市民】

・6月4日に教育委員会から計画訪問があり、校区公民館の要望をしたところ、1年前から壊れていた空調設備の修理をすぐにしてもらえた。また、校区公民館の周辺は大変湿気が多くヤンバルトサカヤスデが発生するので、生コン等による舗装の依頼をした。

#### 【市民】

・浦田商店から魚見小学校までの道路改修をできるだけ早くお願いしたい。子どもたちの通学路にもなっているが、ちょっと雨が降ると川のようになるため、自動車での送迎がなければ行き来できない。台風が来た際に、お年寄りから「どうすればいい」と相談があったが、川になっていてどうすることもできず、一度は消防署に対応をお願いした。家屋への浸水もあり、独居の高齢者は不安がっている。

<農政部長>

・市道 古賀線には道路の両側に側溝を入れ、道路自体の整備には取り組んでいる。一番の問題は排水であり、畑かんからの排水も古賀線に流れている。防災減災の新しい事業も始まったので、この排水を畑地やナフコの方に処理できないものか、県の方に検討いただいている。